

豪州の金利据え置き（3%）と景気改善見通し

- ✓ 豪州中央銀行(RBA)は現行3%の政策金利を4ヶ月連続で据え置きました。
- ✓ RBAによると、豪州景気は予想よりも強く、2010年にかけて成長が強まる見通し。
- ✓ 良好な景気観測を背景に金利先物市場では、既に2010年1-3月期の利上げ観測が台頭しており、豪ドルは堅調推移。

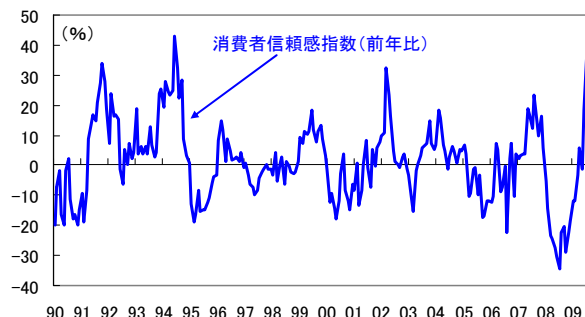
RBA総裁の豪州経済に対する評価は予想よりも強く、2010年にかけて経済成長が強まる見通しです。また、世界経済は安定しつつあるとしています。実際に豪州経済と特に関係が深い中国の4-6月期GDPは前年比7.9%まで回復しており豪州経済の支持要因と考えられます。

RBA総裁の総じて前向きな経済への評価は多数の経済指標に裏付けされています。例えば、消費者信頼感指数は大きく改善して、約15年振りの高水準を示現しました。

【図表①:RBA総裁の声明要旨】

- ・経済・金融情勢の注視を続ける
- ・住宅価格は上昇しつつある
- ・インフレ率は次第に緩和しつつある
- ・豪ドル上昇がインフレ抑制に貢献しよう
- ・経済成長は2010年にかけて強まる見通し
- ・持続的な景気回復にはバランスシート修復が不可欠
- ・消費支出は幾分鈍化しつつある
- ・投資は依然として弱い
- ・生産は目先低迷
- ・世界経済は安定しつつある
- ・世界の経済見通しでの下振れリスクは減少
- ・企業は投資計画を先送りしている
- ・豪州の経済状況は予想よりも強い

【図表②】

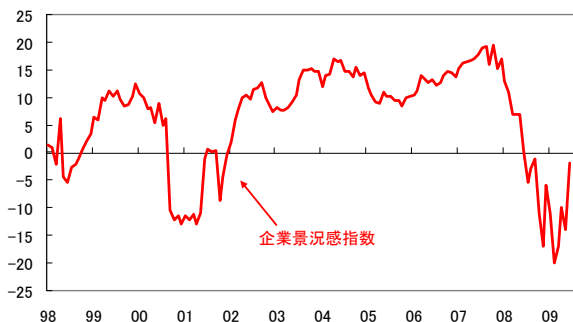


出所：ブルームバーグ

企業景況感も底打ちしました。ただ、本格的な回復には、RBA総裁の声明通り、企業のバランスシート修復が不可欠であり、企業の投資計画が活発化するにはまだ時間がかかりそうです。

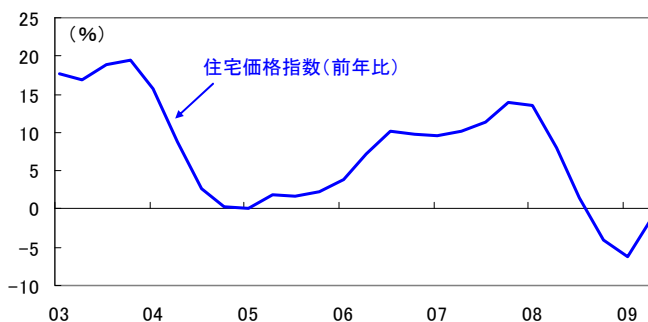
金融危機の根幹をなしている住宅価格の低迷にも、RBA総裁の声明通り底打ち感が始まりました。

【図表③】



出所：ブルームバーグ

【図表④】



出所：ブルームバーグ

RBAの前向きな景気見通しを背景に追加利下げの可能性が後退したと見る向きが増加している模様です。むしろ金利先物市場では、2010年の1-3月期の小幅な利上げ観測が醸成されはじめたようです。今後1年間に織り込まれている政策金利変化幅の日豪格差は豪州優位になってきました。これに伴い、豪ドル/円も上昇しています。

【図表⑤】



出所：ブルームバーグ

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

